

「更なる成長をめざして」

佐藤 星子

第30期生は1年間の研修を無事に終了し、一人のホースマンとして、ようやく出発点に立つ事ができました。しかし、その道のは決して平坦なものではありませんでした。研修では何度も何度も落馬し、納得のいく騎乗が出来ず、心が折れそうになった事は1度だけではありませんでした。それでもこの苦しい1年間を乗り越える事が出来たのは、目標を見失う事無く、研修の最後の最後まで気を抜かず、ほんの少しでも成長したいという強い思いをもって研修に臨んでいたからだと思います。それが技術的な面でも、精神的な面においても、私達をより大きく成長させることに繋がっていったのだと思います。

研修当初、私は馬に関する知識はほぼ皆無で、どのように接していいのかもわからず、恐る恐る対応することしかできず、馬たちから嘯まれたり蹴られたりの連続でした。それでも1年間の経験によって、どのような対応をとればいいのか、おぼろげながらも学ぶことが出来ました。それはどのようにしたらより強く、より従順な馬を作れるのか、日々継続して考え、学んできた結果であり、1年間で得られた成果の一つであると思います。このように馬という生き物を扱う難しさや面白さを噛み締めながら、研修馬たちにも励まされて無事に研修を終える事ができました。そして最後に、こんな私達でも毎日真剣に叱咤激励して下さった多くの教官がいてくれたからこそ、私達はこのスタート地点に立つ事ができたのだと思います。加えて、私達の研修に協力していただいたJRA職員の方、近隣牧場の方や先輩方からの多くの温かいご指導など、素晴らしい環境に恵まれたことを改めて感じ、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

これから、研修生全員がそれぞれ信じた新たな道を力強く歩いていきます。まだまだ前途多難な私達の道の手を見守り、今後も変わらぬご声援を送ってくださいますようお願い致します。

就職先一覧表（第30期生）

氏名	性別	出身地	就労先
荒井 康之	男	東京都	(有)エスティファーム
石井 翔人	男	大阪府	(有)下河辺牧場
上田 和	女	奈良県	富田ステーブル
江上 勇輝	男	福岡県	(有)ビッグレッドファーム
恵比木 伸也	男	神奈川県	富田ステーブル
江本 格	男	茨城県	(有)チェスナットファーム
小川 脩人	男	千葉県	シンボリ牧場(有)
黒川 祐希	男	北海道	(有)ビッグレッドファーム
佐藤 星子	女	神奈川県	(有)ビッグレッドファーム
高橋 敬亮	男	東京都	(有)新和牧場
田邊 義明	男	大阪府	(株)山崎 STABLE
時任 竜軌	男	静岡県	(株)吉澤ステーブル
橋本 健	男	京都府	—
馬場 和哉	男	鹿児島県	—
福井 佑輔	男	大阪府	(株)ノースヒルズ
福島 直規	男	神奈川県	(有)新和牧場
本間 俊彦	男	東京都	(有)ビクトリーホースランチ
望月 香里	女	静岡県	富田ステーブル



「ありがとうと伝えたくて」

本間 俊彦

北海道に来て1年が経ち、まったく何もできなかった頃と比べると、大きな成長を感じます。しかし、どんなふうにも成長してきたのかはあまり実感がありません。きっと、毎日の作業や騎乗訓練で、日々当たり前のことに気を付け、新たな課題に取り組む中で、知らず知らずのうちに少しずつ成長してきたのでしょう。忙しさのあまり、自分の周りにいる人達に対する感謝の気持ちを忘れてしまい、まるで自分だけの力で成長したかのように考えてしまうこともあります。だが、必ず自分を支えてくれている人達があります。そのことに気付いたときは、感謝の気持ちを素直に返していきたいと思います。

私がとても感謝しているのは、月並みになってしまっていますが教官の皆さんです。研修の上半期は、訓練中何も指導を受けることがないときがあり、同じような人ばかりが指導を受けていて、自分は見てもらえていないのかと悲しく思うことがありました。しかし、私に難しい馬が回ってくると上手いかず、ピシバシ厳しい指導が入り、辛い反面嬉しくもありました。この1年間ずっと見守ってくれた教官の皆さんがいたからこそ、今の自分がいるのだと思います。

また、JRA 実習では下手くそな私をセリに出す前の若

馬に乗せてもらい、騎乗ごとに適切なアドバイスをしていただいたJRAの職員さんや頃末さん、石丸課長に対して、感謝の気持ちで一杯です。若馬の騎乗で、乗馬では気付くことができなかった騎乗の感覚が身についたと思います。一番近い、苦労した記憶でもあり、新たな壁に立ち向かいながら大きく成長できた、とても印象深い思い出です。

その他にも、30期の仲間や家族、寮監、食堂のおばちゃん、BTCの職員さんなど、多くの人の助けや支えがあり今の自分がいます。これからも、多くの人達との出会いがあり、その人達と関わりながら人生を歩んでいくことでしょう。そのときも、感謝の気持ちを大切にしていきたいと考えています。

最後になりますが、ちょうど1年前に29期生の先輩方に会ったとき、何ごとにも悩むことのない、完璧な存在に見えました。そのため、「BTCを卒業するときには、一人前の馬乗りになれるものだ」とそう思い込んでいました。しかし、自分が卒業を前にする立場になった今でも、色々な壁にぶつかり「どうしたらもっと上手く乗れるのだろう」と悩み苦しんでいます。1年前の先輩方もきっと同じだったのだろうと今なら分かります。馬乗りの世界は甘くないと、この一年を通じて理解することができました。私は、まだ馬乗りのスタートラインに立ったにすぎないのです。



今年の修了式当日(4月19日)は、寒風吹きすさぶ雪まじりの天気でしたが、研修生の皆さんは最後の実技査閲、騎乗供覧を無事に行い、ご両親の前で有終の美を飾ることができました。